

水産関係公共土木施設等災害復旧事業担当課長 殿

水産庁防災漁村課
水産施設災害対策室長

台風第10号に対する備えと被害報告等について

平素より、水産関係公共土木施設等災害復旧事業に関して特段のご理解、ご高配を賜り感謝申し上げます。さて、本日、台風第10号について、気象庁より、以下の発表がありました。貴管下の漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災上の適切な措置及び工事中の各施設について必要な安全対策を講じていただくようお願いします。

- ・大型で非常に強い台風第10号は、小笠原諸島の南海上にあつてほぼ停滞している。今後は勢力を維持しながらゆっくり北上して非常に強い勢力で11日頃に小笠原諸島に接近し、その後進路を西寄りに変えて日本の南海上をゆっくり北西に進む見込み。13日頃からは北寄りに進路を変え14日以降西日本から東日本の太平洋側に接近するおそれ。
- ・小笠原諸島では強風域（風速15メートル以上）に入っており、10日から11日にかけて非常に強い風（風速20メートル以上）が吹くおそれ。海上はすでにうねりを伴った大しけ（波の高さ6メートル以上）となっており、10日から12日にかけて猛烈なしけ（波の高さ9メートル以上）となるおそれ。伊豆諸島や西日本から東日本の太平洋側でも11日以降は台風からのうねりにより大しけのおそれ。
- ・小笠原諸島では台風接近に伴い、10日を中心に大雨のおそれ。11日6時までに予想される24時間雨量は多い所で100から150ミリの見込み。
- ・小笠原諸島では高波に厳重に警戒。暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に警戒。落雷や竜巻等の激しい突風に注意。台風から離れた伊豆諸島や西日本から東日本の太平洋側でも高波に注意・警戒。最新の台風に関する情報等に留意。（令和元年8月9日11時00分、気象庁発表）

災害関係の事務については、災害発生後迅速に対応するため、速やかに調査を実施する必要がありますが、人命第一の観点から、暴風雨時には状況が収まるまで見回りは行わないで下さい。また、調査に当たっては、危険な箇所は無理をせず、安全に十分な配慮を行って下さい。調査結果については、漁港関係公共土木施設災害復旧事業事務要領（漁港・海岸保全施設）、漁業用施設災害復旧事業事務取扱要領（漁業用施設）、農林水産業共同利用施設災害復旧事業事務取扱要綱（共同利用施設）により速やかに下記までご報告いただくとともに、早急な対応が求められる場合には、水産庁と協議の上、応急工事を実施し、被害の拡大防止等に努めるようお願いします。

なお、このことについて貴管下市町村（政令指定都市を除く）に対しましても、ご周知いただきますようお願いいたします。

【災害報告連絡先】

水産庁防災漁村課水産施設災害対策室 田中、小坂、西崎、廣中、白石、災害携帯

Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325

E-mail:ikuya_tanaka630@maff.go.jp (田中)

yoshimi_kosaka400@maff.go.jp (小坂)

takayuki_nishizak140@maff.go.jp (西崎)

shota_hironaka070@maff.go.jp (廣中)

haruhiro_shiraish250@maff.go.jp (白石)

saitai_6902@docomo.ne.jp (災害携帯1)

saigai_konai@docomo.ne.jp (災害携帯2)

休日、夜間に**重大、重要な災害又は応急対応が必要な災害が発生した場合は**、防災漁村課水産施設災害対策室の**携帯電話（080-8421-9435）**にご連絡下さい。